

生活道路におけるハンプ等の速度抑制対策の効果的な表示内容に関する調査

国土技術政策総合研究所 正会員 ○大橋 幸子
 国土技術政策総合研究所 正会員 鬼塚 大輔
 国土技術政策総合研究所 正会員 稲野 茂

1. 目的

生活道路の交通安全確保が求められる中、車両速度を抑制するためのハンプ等の導入が進みつつある。ハンプ等の設置箇所においては、事前に路面表示、看板等によりドライバーにその存在を示す必要があるが、これらの表示内容については、一部の表示を除き、個別に検討、決定されているのが一般的である。そこで本研究では、利用者等へのアンケートにより、適切な表示内容を調査分析することとする。

2. 方法

調査では、ハンプを例に、路面表示及び看板の一般的な例を作成し、アンケートにより意識調査を行った。一般利用者を対象としたWEB調査と、行政関係者を対象とした調査票を用いた調査を実施した。アンケートでは、安全運転意識を高めるために重要な事項、及び、一般例を用いて注意力向上、速度抑制、抜け道防止等に寄与する表示内容等を調査した。

3. 一般例の作成

既存の表示事例を収集、類型化した結果を基に、以下の一般例を作成した(図-1, 2)。

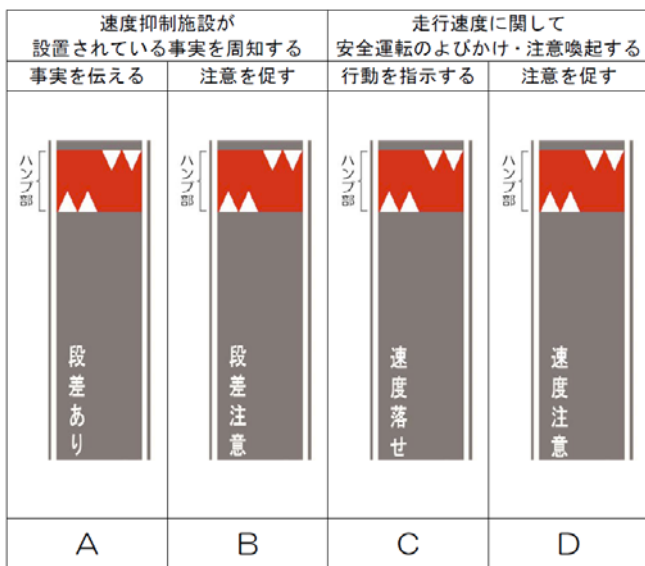


図-1 ハンプに関する路面表示の一般例

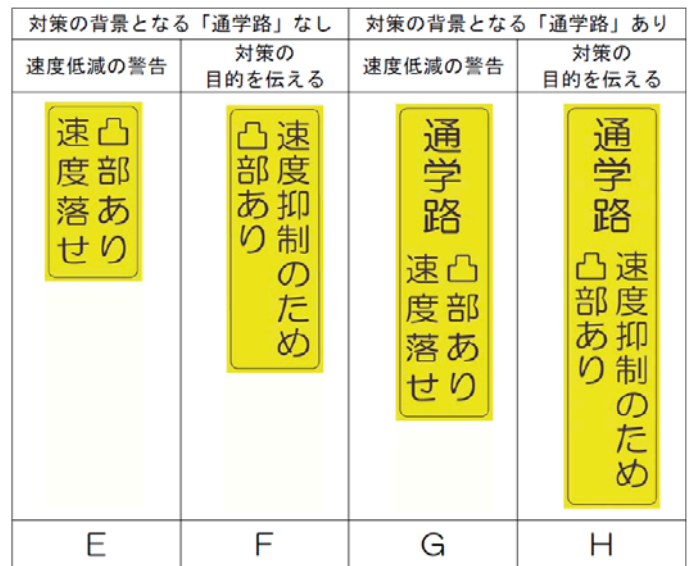


図-2 ハンプに関する看板の一般例

4. 結果

一般利用者を対象としたWEB調査は、WEB調査機関のモニタに登録している人のうち、週数回以上運転する人を対象に、400名から回答を得た。利用者の属性を、図-3, 4, 5に示す。行政関係者を対象とした調査は、自治体の道路関係担当者、交通安全関係担当者、教育(通学路)関係担当者、及び警察関係者から回答を得た。

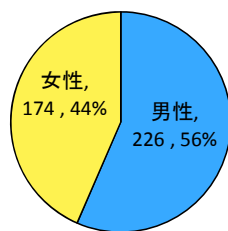


図-3 回答者(利用者)の性別

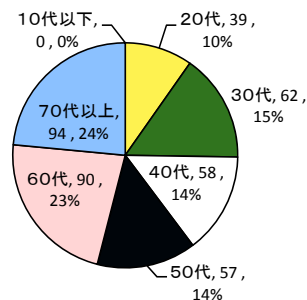


図-4 回答者(利用者)の年代

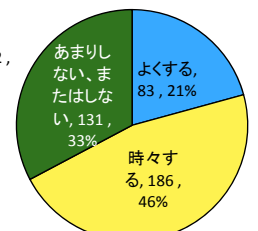


図-5 回答者(利用者)の抜け道利用の頻度

キーワード 生活道路, 通学路, 交通安全, ハンプ

連絡先 〒305-0804 つくば市旭1番地 国土技術政策総合研究所 道路研究室 TEL 029-864-4539

a. 路面表示

利用者アンケート(図-6)では、設置されている事実を伝えるAが、最も内容を認識しやすく、注意力向上、速度抑制、抜け道防止とも最も強く思うという結果になった。行政関係者調査(図-7)でも、Aが最も適当だと思うという回答が多く、その理由として、「具体的な状況が分かる」「段差があることが明確である」など前方の道路状況を的確に示していることが挙げられた。

b. 看板

利用者アンケート(図-8)では、EとGが内容を認識しやすいという回答が多かった。注意力向上、速度抑制に関しては、Gが強く思うという回答が多かった。抜け道防止に関しては、GとHが強く思うという回答が多かった。これらのことから、EとGに共通の「凸部あり 速度落せ」が安全運転に効果があると考えられ、認識しやすさが確保できる場合には、「通学路」を添えることが効果的であると考えられた。行政関係者調査(図-9)では、最も適当であるという回答は、EとGが多かった。その理由として、Eについては、「文字数が少ないのでよい」という意見が多かった。Gについては、「通学路だと認識できたほうがよい」などが挙げられた。

c. その他

速度抑制施設の表示に限らず、利用者が安全に運転しようと思う表示内容(図-10)は、「スクールゾーンや通学路であることが示されている」が多かった。一方で、「生活道路であることが示されている」については、回答が多くなかった。これらのことから、「スクールゾーンや通学路」と「生活道路」では、ドライバーの安全運転意識に与える影響が異なるといえ、その理由として、「スクールゾーンや通学路」は、言葉から伝わるイメージがはっきりしていること、対象や時間帯が限られていることなどが考えられた。また、行政関係者には、安全運転意識を高めるために重要な事項として同じ項目を示し調査したが、結果の傾向は利用者意識と合致した。

また、路面表示と看板に関する利用者アンケートについては、抜け道利用の頻度別に結果を比較したが、傾向の違いは確認できなかった。

5. まとめ

これらの結果からは、ドライバーの安全運転意識に働きかける表示としては、速度抑制施設が存在する事実を伝えることが重要であると確認された。あわせて、認識しやすさを確保する必要があるとともに、スクールゾーンや通学路を明示することが安全運転意識の向上に効果が高いといえた。

これらの結果が、各地域における交通安全対策実施の一助となれば幸いである。

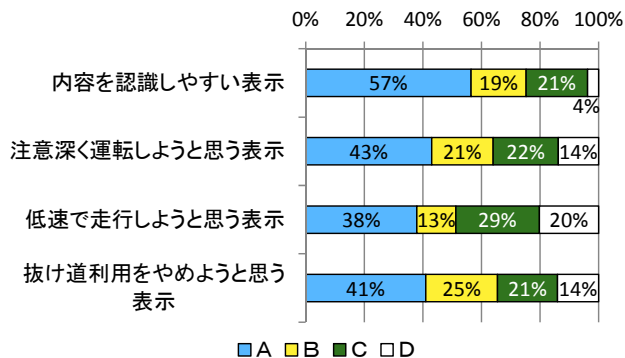


図-6 最も強く思う表示 (利用者・項目毎にA~Dを選択)



図-7 適当と考える路面表示 (行政関係者・N=8)

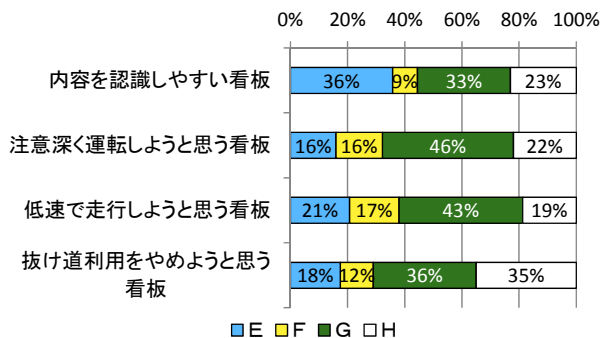


図-8 最も強く思う看板 (利用者・項目毎にE~Hを選択)

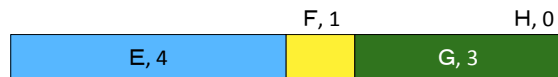


図-9 適当と考える看板 (行政関係者・N=8)

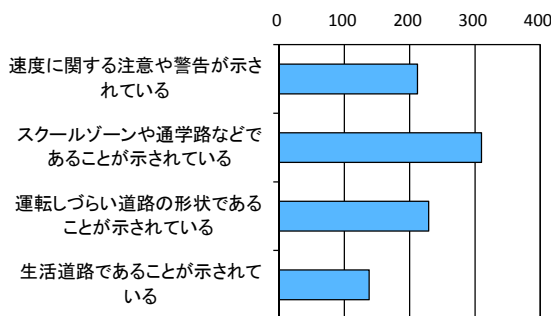


図-10 安全に運転しようと思う表示内容 (利用者・複数選択)